

東カリブ諸国機構（O E C S）6 か国月間情勢報告
（アンティグア・バーブーダ、ドミニカ国、グレナダ、セントルシア、セント
クリストファー・ネービス、セントビンセント及びグレナディーン諸島）
（2024年10月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

10月の東カリブ諸国機構（O E C S）6 か国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ国（ドミニカ）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネービス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

1 概況

- （セントビンセント）政府は、7月に発生したハリケーン・ベリルによる被害総額を8億東カリブドル（約3億米ドル）と推定。
- （セントビンセント）ハリケーン・ベリルによる被害総額はGDPの20～25%と推測されている一方、国際通貨基金（IMF）は、同国の2024年の経済は、主に観光部門の好調によりプラス成長が見込まれると発表。
- （アンティグア）ブラウン首相は、バーブーダ島全土の道路網改善に向けた3,500万東カリブドル（約1,300万米ドル）のインフラ事業を発表。
- （アンティグア）欧州連合（EU）は、アンティグアを租税回避地ブラックリストから除外。
- （アンティグア）2026年に予定されている次回英連邦首脳会議が、アンティグアで開催されることが決定。
- （グレナダ）政府は、ハリケーン・ベリルにより被害を受けた不動産に対する2025年の固定資産税免除を発表。
- （グレナダ）政府は、ハリケーン・ベリルにより被害を受けたグレナダ本島の農業従事者に対し、合計1,910万東カリブドル（約700万米ドル）の補助金を支払うと発表。
- （セントビンセント、セントルシア、セントキッツ）10月23日～11月2日にかけて、林佳龍台湾外交部長は中南米・カリブ地域の台湾承認5か国（グアテマラ、セントビンセント、セントルシア、ベリーズ、セントキッツ）を公式訪問。

2 内政

●（３日アンティグア報道）国内２つ目の国際空港となる「バートン・ニブス国際空港」がバーブーダ島で正式に開港。

●（３０日セントビンセント報道）PAHO（汎米保健機構）によると、セントビンセントの人口は過去２４年間で１１．４％減少した。

３ 経済

●（２日セントビンセント報道）政府は、７月に発生したハリケーン・ベリルによる被害総額を８億東カリブドル（約３億米ドル）と推定。

●（４日アンティグア報道）財務省は、過去９か月に７．５５億東カリブドル（約２．８米ドル）の歳入が確認されたと発表。

●（４日アンティグア報道）ブラウン首相は、バーブーダ島全土の道路網改善に向けた３，５００万東カリブドル（約１，３００万米ドル）のインフラ事業を発表。同事業はカリブ開発銀行により資金提供される。

●（４日グレナダ報道）政府は、ハリケーン・ベリルにより被害を受けた不動産に対する２０２５年の固定資産税免除を発表。

●（５日セントビンセント報道）ハリケーン・ベリルによる被害総額はGDPの２０～２５％と推測されている一方、国際通貨基金（IMF）は、同国の２０２４年の経済は、主に観光部門の好調によりプラス成長が見込まれると発表。

●（７日グレナダ報道）政府は、ハリケーン・ベリルにより被害を受けたグレナダ本島の農業従事者に対し、合計１，９１０万東カリブドル（約７００万米ドル）の補助金を支払うと発表。５エーカー以上の土地を持つ農家には９，０００東カリブドル（約３，３００米ドル）、５エーカー未満の農家には４，５００東カリブドル（約１，７００米ドル）が一時金として支払われる。

●（８日セントルシア報道）８月の総入国者数は、前年同月比２７％増となる３４，８９５人を記録。２０２４年１月以降、８か月連続で前月比の伸びを記録している。

●（８日アンティグア報道）欧州連合（EU）は、アンティグアを租税回避地ブラックリストから除外。

●（１４日アンティグア報道）ブラウン首相は、新型コロナ時には１００％を記録した対GDPの政府債務残高は、２０２４年末には５８％となる見込みであると発表。

●（１９日セントルシア報道）２０２４年第２四半期の失業率は過去１２年間で最低水準となり、平均１１．２５％を記録。同水準は、前年同期比２％減及び２０２２年同期比６．２％減となった。

●（２１日セントビンセント報道）ハリケーン・ベリル被害の復興支援のため、世界銀行は総額６，３００万米ドルの資金援助を承認。同資金は、被害を受けた

世帯への補助金や中小企業への助成金、インフラ整備等に充てられる予定。

●（24日グレナダ報道）財務省は、2024年1月～7月までに投資による市民権（CBI）プログラムから得た歳入は、3月末までのロシア国籍者による申請件数の増加が起因し、2024年の目標額である2.8億東カリブドル（約1.03億米ドル）を上回る3.2億東カリブドル（約1.18億米ドル）を記録したと発表。なお、グレナダは4月1日以降ロシアをCBI対象国から除外した。

●（25日セントビンセント報道）セントビンセントと台湾は、アモス・ヴェール市における最先端の救急病院建設の契約を調印。同建設は、台湾による7,873万米ドルの資金援助により実施される。

●（26日アンティグア報道）国際通貨基金（IMF）は、アンティグアの2025年の経済成長率は、2024年の5.8%から減速し3.5%になる見込みであると発表。更にIMFは、同国のインフレ率は2024年の5.4%から2025年には2%に低下、貿易赤字は2024年のGDP比10.5%から2025年には9.8%に改善、及び政府債務は2023年のGDP比76.8%から2025年には67.3%に減少すると予測している。

●（28日アンティグア報道）ハリケーン・オスカーによる被害を受けたキューバに対し、政府は10万ドル（通貨不明）の資金援助を発表。

●（28日グレナダ報道）中国による約10万米ドルの資金援助により建設されたLa Sagesse公園が完成。

●（28日、29日アンティグア報道）中国からの5,000万東カリブドル（1,838万米ドル）の資金援助によるBooby Alley公営住宅開発事業が開始。同事業により150戸のコンドミニアム形式の住戸が建設される予定であり、約300人のアンティグア国民が恩恵を受ける。

4 外交

●（9日セントビンセント報道）「持続可能な未来のための気候スマート農業」をテーマに、カリブ農業週間がセントビンセントで開幕。

●（25日アンティグア報道）ブラウン首相はサモアで開催される英連邦首脳会議（CHOGM）に出席し、同会議のマージンでサモア、マルタ、ルワンダ、フィジー等の首脳と二国間会談を実施し、気候変動や過去の奴隷貿易・奴隷制に対する賠償等に関して協議。

●（25日アンティグア報道）2026年に予定されている次回英連邦首脳会議が、アンティグアで開催されることが決定。

●（27日、28日、29日、31日セントビンセント報道）26日～28日、林佳龍台湾外交部長は、セントビンセントの第45回独立記念日の祝賀行事に参加するため同国を訪問。また、林外交部長はゴンザルベス首相及びファン駐セ

ントビンセント台湾大使と共に、Arnos Vale 救急病院の起工式に出席。さらに、同外交部長は、農家向け研修室及び農作物の保冷室の開所式並びにヤギと羊の飼育施設の除幕式に出席。

●（３０日セントルシア報道）２８日～３１日、林佳龍台湾外交部長はセントルシアを訪問。同外交部長は、ピエール首相と二国間会談を行った他、公衆衛星データ関連アプリの発表式への出席や既存の二国間協力事業の現場視察等を実施。

●（３１日セントキッツ報道）３１日、林佳龍台湾外交部長はセントキッツを訪問し、ドリュー首相やダグラス外相と二国間会談を実施。